

進路指導部だより

道しるべ

天王みどり学園 進路指導部

第127号 小学部版

平成28年6月17日発行

地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成

「コミュニケーションの意欲を高めるために」

小学部主事 塚本 佳津子



この場に原稿を寄せる機会をいただいて3年目になりました。小学部で育てたい大事なこととして1年目は「好きなこと得意なことをたくさん見付ける」こと、2年目は「身の回りのことを最大限自分の力でできるようにすること。それも、正しいやり方で」ということを書かせていただきました。そして3年目となる今年は、「自分の意思や気持ちを周囲に伝える」ことについて書きます。

伝える手段は一人一人異なります。話し言葉だけが伝える手段ではありません。「目は口ほどに…」ということわざもあるように、視線や表情、身振り、サイン…、伝える手段はたくさんあります。それを手段として使おうとするかどうかには周囲の関わり方（特に受け止め方）が大きく影響します。些細な表情の変化でも相手のリアクションがあれば、自分の発信が相手に影響を与えていることが実感できます。たとえ初めはそれが期待した応えでなくても、自分が他を動かせる実感がコミュニケーションの意欲を高めます。聞く耳をもたない人には伝えたくなくなるものです。伝えたいという意欲があれば、伝える手段の獲得もしやすいです。小学部、特に低学年ではどんな発信も拾って拾って、コミュニケーションの意欲を高めていきたいと思っています。

第1回同窓会及び年間予定

今年度の第1回同窓会が5月7日（土）に行われ、運動会への参加及び運営ボランティアとしてたくさんの同窓生が参加しました。また、同窓会役員会も行われ、今年度の活動計画を話し合いました。

<今年度の同窓会年間計画>

- 第1回 5月 7日（土）運動会及び役員会
- 第2回 8月 7日（日）同窓会総会及び成人を祝う会
- 第3回 10月22日（土）学園祭
- ※平成29年3月7日（火）同窓会入会式



豊かな生活に向けて ～ 小学部から育てたい力 ～

中学部、高等部では前期の校内実習・現場実習が行われました。ここでは、それぞれの実習で大事にされていることや、働くために必要とされる力について、また、それらを目指して小学部から育てたい力について紹介します。

実習で大事にしていること

中学部校内実習の目標

- 1 自分の仕事を覚え、時間いっぱい集中
- 2 相手の目を見て、元気よくあいさつ、
返事、報告
- 3 時間を守る
自分が「できること」に対しては「自分から」
進んで行く姿勢を目指して、頑張っています。



高等部校内・現場実習の目標

- ・体 力：立って作業に従事する力
- ・作業力：作業量（出来高）よりも
作業の質（不良品を出さない）を重視
- ・衛 生：身だしなみ、排せつ等の自立
- ・挨拶や報告：言葉遣い、話す姿勢
- ・見通し：作業日程を理解し、作業に集中する。



就労で求められる基本的な力

例えば…

トイレの利用、仕事への集中・責任、注意の受け入れ、職場のルール、挨拶、協調、お礼、返事・報告・質問、数字・文字・時刻の読み、交通機関の利用、報酬を得られることの理解など…

就労に必要な力は、
特別なものではなく、
ごく日常的な基礎的
な力なんですね！



会社（社会）が求める人材

- ・毎日時間通りに出勤する。
→安心して仕事を任せられる。
- ・働くこと（何をしているか）を理解している。
- ・仲間と協調できる。
→チームを組んで一緒に仕事をする。
- ・指示を理解し、従うことができる。
- ・報告、連絡、相談ができる。
- ・挨拶、服装、身だしなみなどの基本

小学部から育てたい7つの力

～「楽しむこと」「暮らすこと」「働くこと」を目指して～

- ① 休まない。元気に運動する。
→ 充実した学校生活を過ごし、毎日元気に登校する。基本的な生活習慣を身に付ける。
- ② トイレの始末、食事を摂る、着替え、服装を整える。
→ 「大人と一緒に」→「大人の援助を受けて」→「一人で」のスモールステップで
積み重ね、最大限自分の力でできることを目指します。
- ③ 指示に従う、着席し集中して学習に向かう。
→ 繰り返しの学習の中で、見通しをもって行動したり、分かること・できることが増えたりする
ことをねらいます。成功体験を積み重ねることで、興味関心の幅を広げ、様々な活動に意
欲的・積極的に向かう姿勢を育みます。
- ④ 協調性がある。
→ 遊びや集団行動の中で、人と関わる楽しさを実感できることが大切です。
- ⑤ 挨拶、返事、報告ができる。
- ⑥ 誤りを認める、謝罪や感謝できる気持ち
→ 大人や友達との信頼関係が十分に保たれた環境の中で、素直に謝罪や感謝する気持ちが育ち
ます。集団の中で役割をもって最後までやりきることで、自己有用感をもったり、繰り返し
感謝されたりする経験が大切です。
- ⑦ 笑顔で、印象も気持ちも明るい毎日を過ごす。

